



8月議会 市有地へ、認可外保育園（定員34 2人）設置にたいし反対陳情が出 される

岡山市では、老朽化した市営住宅の再整備を進めています。8月議会に「北長瀬みずほ住座再生事業」の事業契約締結にたいし議会の議決を求める案件が出されています。

この事業は、北長瀬みずほ住座214戸の建替え、民設民営の保育所整備、既存建物の解体撤去などを行うもので、契約期間は2021年3月31日まで、契約額は34億円となっています。

私立認可保育園・認定子ども園園長会から「北長瀬みずほ住座再生事業における保育所の建設について」さらに岡山県保育団体連絡会から「市有地を活用した保育施設については、認可保育園としての整備を基本とするようもとめることについて」という陳情が出されています。

市営住宅に併設される認可外保育園の 設置に対しての反対陳情であり、白紙 撤回を求めています

岡山市は、これまでも市有地の提供により保育園を作ってきましたが、どれも認可保育園であり、事業者は公募でした。今回は5000㎡の市有地に342人の認可外保育園ですが、園長会との協議や、事業者の公募がなかったこと、「待機児童」解消の基本は認可保育園整備と保育園建設を白紙にという内容です。

近隣の保育園や園長会に、情報提供もないまま仮契約まで進んだのですから、驚きません。この事業は「総合評価一般競争入札」という方法で、事業提案が2グループから出され岡山市の審査会が落札者を決定しています。今後、議事経過などを明らかにしていきたいと思えます。市政の透明化が大事です。

用水で魚が死んでいた！

正確な日時は、はっきりしませんが、用水路に魚が死んでいたというお話をお伺いしました。今となつては、原因物質、排出元を特定することは、困難です。

岡山市に、「こんなことがあったけど」と尋ねてみました。

岡山市では、道路側溝などのハエ蚊などの対策として、町内会の要望にそつて「スミチオン」という薬剤を配布、散布は町内会で行っていることがわかりました。今年度の配布状況は、中区ではゼロの町内会から最高15パック（1パック2キロ）の配布を受けた町内会までありました。

薬剤を配布する岡山市は、管理をきち んとすべきです

メーカーに尋ねてみると、「適正な使用法を守っていただくと、魚が死ぬことはありません」といわれました。ただし環境影響情報として魚毒性コイ：TLm40mg/L（48hr）が示されていたので説明を聞くと、50%のコイが死ぬスミチオンの量を示しているということでした。

今回魚が死んだ原因がスミチオンだと特定は出来ませんが、環境に影響がある薬剤散布管理を、岡山市がきちんとして行うことが必要ではないでしょうか。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼9/26(火) 映画上映会
10:00～ 下市このみ事務所
- ▼10/13(金) 市民ネット市政報告会
18:30～20:30
福浜公民館
岡山市南区福富中1-16-22